

半導体製造向け製品

バルカー、再増強を検討

特殊タンクや需要対応へ投資継続

バルカーは、半導体製造装置用高機能シール製品および薬液貯蔵用ライニングタンク（特殊タンク）について、能力増強に向けた検討を開始する。両製品とも増強すみだが、半導体市場の急伸を背景とした将来需要に対応するため、継続的な投資実施について検証する。本坊吉博社長COOは「グローバル視点での体制強化を実現する」と話す。来期からスタートする2カ年の新規経営計画期中に具体策を決定する方針だ。



本坊COO

バルカーは、両製品の伸長により2022年3月期の売上高は525.5億円、営業利益は60億円と、ともに過去最高を予想す

る。営業利益は現中計目標数値を上回る見込みから、来期から新経営計画を開始する。創業100周年となる27年の目標である売上高800億円、ROE15%に向けて、本坊COOは「新経営計画では企業変革（CX）を加速する」と話す。新経営計画では「新素材、新領域、事業投資をキーワード」（本坊COO）にセンシングやエンジンリアリングサービスなど既存製品を融合した「H&S」事業の展開拡大に取り組み。並行して戦略製品である半導体製造装置用高機能シール製品および特殊タンクの体制強化を進め、成長戦略

を確実に推進する。バルカーの高機能シール製品はフッ素系エラストマーをベースとした設計、配合、加工技術を駆使した高性能かつ高品質が特徴。エッチングなど半導体製造の中でも重要プロセス向け製品として豊富な採用実績を有す

る。昨年10月には、エッチング装置では世界トップシェアを有する米ラムリサーチ（カリフォルニア州）からサプライヤー優秀賞を獲得している。生産拠点は、日本奈良、韓国、中国（上海）に有するとともに、米国には製品評価などのR&D機

能を設置する。新計画での増強では、地政学的リスクや知財管理、人員確保、政策的補助金などの条件を総合的に検証する考え。特殊タンクは、フッ素樹脂製のライニングシートを金属や繊維強化プラスチック（FRP）に接着しシートの合わせ目を溶接、接液部を保護ライニングしたもの。高純度での保存が要求される半導体製造向け薬液貯蔵用として需要が伸長する。昨年10月には、台湾新工場の稼働を開始し、現地および中国市場向け供給体制を強化したばかりだが、需要伸長の継続を見込み、さらなる生産増強の検討を進める。